1　夕刊

marketpress
証券市場新聞

２０２０　２/２７　木曜日

２万２０００円割れ

発行元：株式会社 証券市場新聞社
〒542-0081　大阪市中央区南船場３-７-27　ＮＬＣ心斎橋ビル６Ｃ
TEL：06-6105-1904　FAX：06-7635-7861
http://www.marketpress.jp

２７日大引けの東京市場は４日続落、日経平均は前日比４７７円９６銭安の２万１９４８円２３銭で引けた。２５日のニューヨーク市場でダウが１２３ドル超急落したことを嫌気、午前８時３分からのトランプ大統領会見の内容から悲観売りでＮＹダウ先安から悲観売りを浴び、海外での感染者報道で後場下げ幅を拡げた。

個別ではコシダカＨＤ、ぴあ、サニックス、ＤＬＥ、アレンザ、システムサポート、サインポストが値下がり率上位に売られ、ファーストリテも安い。半面、キョーリン製薬、新日本空調、ファイスＨＤ、有機薬、ニイタカ、月島機械は値上がり率上位に買われ、オリンパスも高い。

下げ止まらず４日続落

日経平均株価

2 万 1948 円 23 銭

▼477 円 96 銭（前日比）

ＴＯＰＩＸ

1568.06

▼38.11（前日比）

今日の動意銘柄

日水薬(4550)が反発、新型コロナ感染対策で思惑

日水製薬(4550)が反発。新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が懸念されるなか、臨床診断薬を手掛け、感染対策関連の一角として短期資金を集めており、日本水産(1332)が発行株の過半を保有する子会社で、親子上場関連の側面にも目が向けられている。

ペッパーが大幅安で連日の安値、いきなり！ステーキ７４店を閉店

ペッパーフードサービス(3053)が大幅安で連日の安値更新。前日に開催した決算説明会で今年中に主力の「いきなり！ステーキ」業態で７４店を閉店することを明らかにした。既存店売上高の低迷が続くなか、不採算店を整理して収益再建を図るが、出店は２店舗にとどまり、店舗数は大幅に減少することから、売り上げはは大幅に縮小、退店コストによる財務負担も懸念された。

ＮＥＷＡＲＴが急反発、２１年３月期記念配当上乗せ５０円に

ＮＥＷ　ＡＲＴ　ＨＯＬＤＩＮＧＳ(7638)が急反発。２６日取引終了後、２１年３月期の配当について、普通配３０円に株式公開２０周年記念配２０円を上乗せ５０円（２０年３月期３０円）にすると発表した。前日に昨年来安値を更新していたことから、押し目買いが優勢になった。

ピープルが急反発、２０年１月期上方修正で見直し買い

ピープル(7865)が急反発。前日取引終了後、集計中の２０年１月期連結業績を上方修正したことで見直し買いが入った。営業利益を従来予想の２億１６００万円から２億９４００万円（前期比３２．１％減）へ。年末商戦は不振だったが、年明け以降の受注が予想以上に伸び、大型屋内遊具類を中心に最終月には全カテゴリーで国内売上が伸びた。株価は前日に昨年来安値を付けていた。

今日の動意銘柄

アスクルが反発、ＥＢＩＴＤＡ過去最高更新観測報道で押し目買い

アスクル(2678)が反発。２７日付の日本経済新聞が「２０２０年５月期にＥＢＩＴＤＡ（利払い・税引き・償却前利益）が前期比３割増の１４０億円前後となり、３年ぶりに過去最高を更新する見通し」と報じたことを受け押し目買いが入った。売上高の８割を占めるオフィス向け通販が好調で、消費者向けネット通販「ロハコ」の赤字幅縮小も寄与するもよう。１７年に発生した物流施設の火災以降、落ち込んでいた業績の回復基調が鮮明になっているとしており、一段の収益拡大が期待された。

医学生物が急伸、新型コロナウィルス感染症検査試薬開発に着手

医学生物学研究所(4557)が急伸。２６日、新型コロナウィルス感染症「ＣＯＶＩＤ－１９」の検査試薬開発に着手したと発表したことが買い手掛かりになった。同社とグループ企業のＧ＆Ｇサイエンスの遺伝子検査試薬開発技術により汎用機器で測定ができ、検体処理能力の高いリアルタイムＰＣＲ試薬を短期間で開発、供給することを目指すとしている。

スプリックスが反発、感染防止へ在宅学習サービス開始

スプリックス(7030)が反発。２６日、個別学習塾「自立学習ＲＥＤ」で自宅で授業を受けられる「在宅学習サービス」の提供を開始したと発表したことが買い手掛かりになった。質問などへ遠隔で対応する方針で、新型ウイルス感染防止のための選択肢として、ユーザーの要望に応じて、体制を整備することが必要と判断したとしている。

中央発條(5992)が続伸、自己株式取得枠の設定を好感

中央発條(5992)が続伸。同社は２６日の取引終了後、自己株式取得枠の設定を発表、上限１万株（発行済株式総数に対する割合０．16%）または４０００万円で取得期間は３月１日～９月３０日まで。手元資金や株価水準等を総合的に勘案し、機動的に実施することで、資本効率向上を図るため。

今日の動意銘柄

立花エレが３日続落、新型コロナ影響で２０年３月期予想を下方修正

立花エレテック(8159)が３日続落。同社は２６日の取引終了後、２０年３月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で１８３０億円から１７００億円（前期比７．０％減）へ、営業利益で６７億２０００万円から５８億円（同１２．１％減）へ下方修正した。新型コロナウィルス肺炎の感染拡大が製品や部材の生産、供給に大きく影を落としており、ＦＡシステムや半導体デバイスが苦戦している。

月島機が反発、受注残進捗で２０年３月期予想を上方修正

月島機械(6332)が反発。同社は２６日の取引終了後、２０年３月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で９００億円から１０００億円（前期比２．３％増）、営業利益で６０億円から７０億円（同１０．２％減）へ上方修正した。豊富な受注残が順調に進捗、期末配当も１１円から１３円（前年同期１４円）へ引き上げた。

大末建設が４日続落、利益改善遅延で２０年３月期予想を下方修正

大末建設(1814)が４日続落。同社は２６日の取引終了後、２０年３月期の業績予想の修正を発表、連結売上高で６８５億円から６５１億円（前期比０．４％増）、営業利益で３７億１０００万円から２７億６０００万円（同２９．２％減）へ下方修正した。手持工事で利益改善が計画どおり進まなかった。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測の的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被られたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。